

ぜん ぎょう じ
善巧寺報



2 月号

月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL. 048(734)7660 榎本明覚



あんこう魚は、産卵を終えた7月から8月が禁漁期間となっています。あんこうは11月から2月までが一番美味しい時期だとされています。一般的に食用として流通しているのは「キアンコウ」と呼ばれる種類です。

東京教区の名品・特産品 ～ 茨城東組 あんこう ～

▼二〇二四年二月一日▲

定例法座

毎月 十一日

◎二月十一日(日)午後二時

〜三時半

於 善巧寺 法輪会館

「鬼は外？鬼は内？」

みんな来て

ずーっと居ろよ わが家に

酒もあるから

豆蒔かぬから

『朝日花壇』

いわき市 馬目公平さん

どこへ行っても 鰯の頭ばかりで

あつたか、豆を蒔かれたか。君もか、

君もか。みんな うちに来いよ。今晩

だけじゃなく、ずつとうちに居てもい

いよ。うちは君たちに「鬼は外」なん

ていわないよ。豆も蒔かないよ。一杯

呑めや。私自身がな、君たちのような

鬼を内に抱えている者だ。

私たちは、意識的にもまた無意識的

にも「自身を守ろう」という我執の中

心として生きています。より多くの財産を欲するのも、社会的な地位身分を欲し、時にその地位や影響力の保持に執着するのも、この我執に依るものとお釈迦さまは説かれたのでした。行き過ぎた自己正当化は、他者との軋轢を生み争論に発展し、それが家族、親戚、集落、民族、国家単位にまで対立が拡大した最悪の事態が戦争です。子孫まで憎悪を植え付けるといふ不幸を生む結果となります。

仏教徒は、お釈迦さまの教えを守り我執を乗り越えようとしてきました。がそれは容易な事ではありませんでした。親鸞聖人は『一念多念文意』という著作のなかで、

「凡夫というは、無明煩惱われらがみにみちみちて、欲もおおく、いかり、はらだち、そねみ、ねたむころおおく、ひまなくして臨終の一念にいたるまでとどまらず、きえず、たえずと」

我執を乗り越えがたい愚者、すなわち「凡夫」についての確に表現されています。こうした貪り・怒り・腹立ち・

嫉妬の心が縁に触ればすぐに表に出てくる、そのような自身の姿を、浅原才市という方は「鬼」に喩えて歌を作られています。

うちのかかあの寝顔を見れば

地獄の鬼にそのまんま

うちの家には 鬼が二匹おる

男鬼に 女鬼

あさましや あさましや

ここまで赤裸々に表現できるのは、鬼のようにあさましい者だからこそ悲しく淋しい存在であるからこそ、捨てることはできないと立ち上がった阿弥陀如来の大慈悲心が、才市翁の根底を貫いていたからに他なりません。我執の中から一歩も出られない私だからこそ、我執から離れた本当の穏やかさを与えよう!!必ず仏と成すと呼び続けている仏の声が「南無阿弥陀仏」だったのです。

わたしや あなたに拜まれて

たすかつてくれと 拜まれて

御恩うれしや 南無阿弥陀仏



浅原才市(1850～1932)
 島根県太田市温泉津の生まれ。1882年、西本願寺で帰敬式を受け「釋 秀素」という法名を授かります。1904年、郷里で下駄職人を始め、念仏詩をかんな屑などに書き綴りました。1919年、熱心な寺詣りを褒められ肖像画を描いてもらうこととなりますが、その際、絵師に鬼の角を書き足させた逸話は有名。その数7000首を越えるという法悦と慚愧の日々を詠んだ詩は、米国に禅や日本仏教を紹介した鈴木大拙博士によってひろく伝えられました。

みほとけ会月例会

※ ZOOM ミーティング ※

みほとけ会では ZOOM を用いたインターネット法話座談会を開催中です。

次回は、二月十五日(木)

午後八時～です。

参加ご希望の方は、

jettiget@gmail.com

までメール送信下さい。

◆ 春日部だより ◆

◎久しぶりの大雪、皆さまのところはいかがだったでしょうか？住職は早朝からお寺と歩道の雪かきをいたしました。冬の本願寺札幌別院、長野別院では日課のようなものでしたので、さほど苦にならず。雨に変わったおかげで融雪も早かったので助かりました。まだ路面凍結の心配がありますのでお出かけの際はくれぐれもお気をつけて、ゆっくり安全に。

◎『魁！仏教塾』という連続講座を始めました。目からウロコの仏教的物事の捉え方・考え方を通して、日常と違う視点を提供できればと思っております。第四回は「華嚴」について。芥子粒の中に大千世界の全てが収まるという途方もない世界観と、そうであるが故に、この大宇宙には無価値な物は存在しないという慈愛の世界観をご紹介します。

・二月二十三日(祝)午後一時～三時

於 善巧寺法輪会館

参加費 五〇〇円(精進おやつ付き)

※なお、皆さまから頂戴した参加費は能登大地震の義援金といたします。